

# 津地区の景況調査

平成21年下期実績と平成22年上期見通し  
(平成22年1月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

## も く じ

調査概要	1
調査結果	4
1 現状と今後の見通し	4
2 売上状況と来期の見通し	6
3 売上の現状	7
4 利益状況	8
5 販売条件と仕入条件	9
6 設備投資	11
7 資金繰りの動向	12
8 借入の動向	13
9 借入予定と借入希望先	13
10 経営上の問題点	15
付帯調査	
11 今年度利用の借入内容	17
調査票	18

## ・ 調 査 概 要

- 1 . 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
- 2 . 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている2,327企業を対象に実施しました。
- 3 . 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
- 4 . 調査期間 平成22年1月7日～1月18日
- 5 . 調査対象期間 平成21年7～12月実績と平成22年1～6月見通し
- 6 . 回収集計数 回収集計数企業 469 (回収集計率 19.7%)  
うち小規模企業 315
- 7 . 調査機関 津商工会議所・中小企業相談所

### D I - Diffusion . Index ( ディフュージョン・インデックスの略 )

本文のD Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動(強気や弱気など)を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

### B . S . I 値 ( ビジネス・サーベイ・インデックス ) の見方について

B . S . I .とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動(強気や弱気など)を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

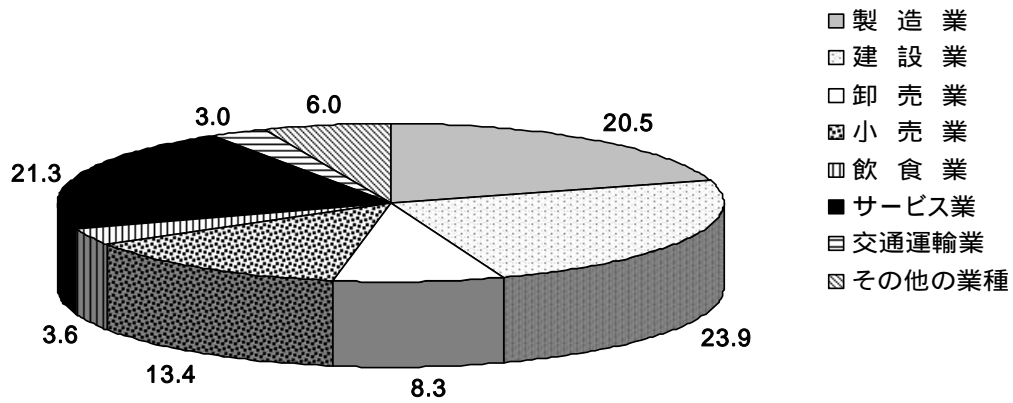
(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合があります。

## 回答状況

### 業種別回答比率

( 単位 : % )



### 業種別従業員規模

( 単位 : 上段 - 企業数 ・ 下段 - % )

従業員数 産業別	従業員数					計
	0 ~ 5 人	6 ~ 20 人	21 ~ 50 人	51 ~ 100 人	101 人以上	
全産業	244 52.0	129 27.5	45 9.6	20 4.3	31 6.6	469
製造業	34 35.4	28 29.2	11 11.5	8 8.3	15 15.6	96
建設業	64 57.1	32 28.6	11 9.8	2 1.8	3 2.7	112
卸売業	19 48.7	15 38.5	2 5.1	2 5.1	1 2.6	39
小売業	43 68.3	11 17.5	3 4.8	3 4.8	3 4.8	63
飲食業	11 64.7	5 29.4	0 0	1 5.9	0 0	17
サービス業	53 53.0	27 27.0	11 11.0	3 3.0	6 6.0	100
交通運輸業	4 28.6	5 35.7	3 21.4	1 7.1	1 7.1	14
その他の業種	16 57.1	6 21.4	4 14.3	0 0	2 7.1	28

## 全 産 業 D I

	業況判断	売り上げ	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
22年1月～6月 見通し	62.2	53.9				34.3
21年7月～12 月実績	60.3	57.1	52.8	51.8	27.7	32.0
21年1月～6月 実績	65.4	61.0	62.6	56.0	30.2	40.2
20年7月～12 月実績	65.4	60.7	64.4	53.6	40.3	41.7

## 産 業 別 D I (21年7～12月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	65.6	62.5	55.3	54.2	22.9	32.3
建 設 業	67.0	47.3	64.2	56.2	33.9	41.1
卸 売 業	51.3	48.7	56.4	51.2	28.1	15.3
小 売 業	61.9	69.8	47.6	58.7	22.2	26.9
飲 食 業	58.8	64.7	58.8	47.0	17.7	58.8
サービス業	53.0	53.0	44.0	46.0	29.0	31.0

# 調査結果

## 1. 現状と今後の見通し(表-1、図-1・2参照)

平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大して実施。

### (1) 現況

全産業の業況判断DIは、今期実績値 60.3と前期 65.4に比べ5.1ポイントの改善となっている。小規模企業でも今期 66.0と前期 70.6に比べ4.6ポイント改善となった。

産業別に見ると、前期同様に建設業で 67.0と最も高い数値であった。一方、最も低い数値はサービス業の 53.0であった。

小規模企業の産業別では、製造業と小売業で前期に比べ悪化となったものの、それ以外の業種では好転となった。

### (2) 今後の見通し

全産業の今後の見通し判断DIは 62.2と、今期の現状実績値 60.3と比べ1.9ポイントマイナス幅が拡大となり、今後の厳しさが窺えるものとなった。

産業別で改善見通しとなっているのは、製造業と建設業のみで、卸売業、小売業、サービス業では悪化見通しとなった。

小規模企業での見通し判断DIは全体で 60.0と、今期の現状実績値 66.0と比べ6.0ポイントマイナス幅が縮小し、やや改善見込みとなっている。

産業別では、製造業、建設業、小売業では改善見込みとなり、それ以外の業種では横ばい状況となっている。

表-1 経営の現状と今後の見通し

期 産業	実績			来期の 見通し	期 産業	実績			来期の 見通し
	20年7 ~12月	21年1 ~6月	21年7 ~12月	22年1 ~6月		20年7 ~12月	21年1 ~6月	21年7 ~12月	22年1 ~6月
全産業	65.4	65.4 ( 70.6)	60.3 ( 66.0)	62.2 ( 60.0)	全産業				
製造業	64.8	60.9 ( 67.4)	65.6 ( 69.4)	61.5 ( 56.5)	製造業				
建設業	57.7	73.3 ( 74.6)	67.0 ( 69.8)	61.5 ( 61.5)	建設業				
卸売業	88.2	64.1 ( 76.0)	51.3 ( 57.9)	64.1 ( 57.9)	卸売業				
小売業	80.6	58.4 ( 69.4)	61.9 ( 74.4)	63.5 ( 67.5)	小売業				
飲食業	58.8	66.6 ( 70.0)	58.8 ( 54.6)	58.8 ( 54.6)	飲食業				
サービス業	51.8	63.9 ( 65.4)	53.0 ( 56.7)	63.0 ( 58.5)	サービス業				

DI = 好転(良い、やや良い)の割合 - 悪化(やや悪い、悪い)の割合 はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示  
快晴 晴 <曇り時々晴 <曇り <曇り時々雨 雨



景気判断DI

50以上100 25以上 0以上 25以上 50以上 100  
50未満 25未満 0未満 25未満 50未満 50未満

図 - 1 津地区の経営の現状と見通し

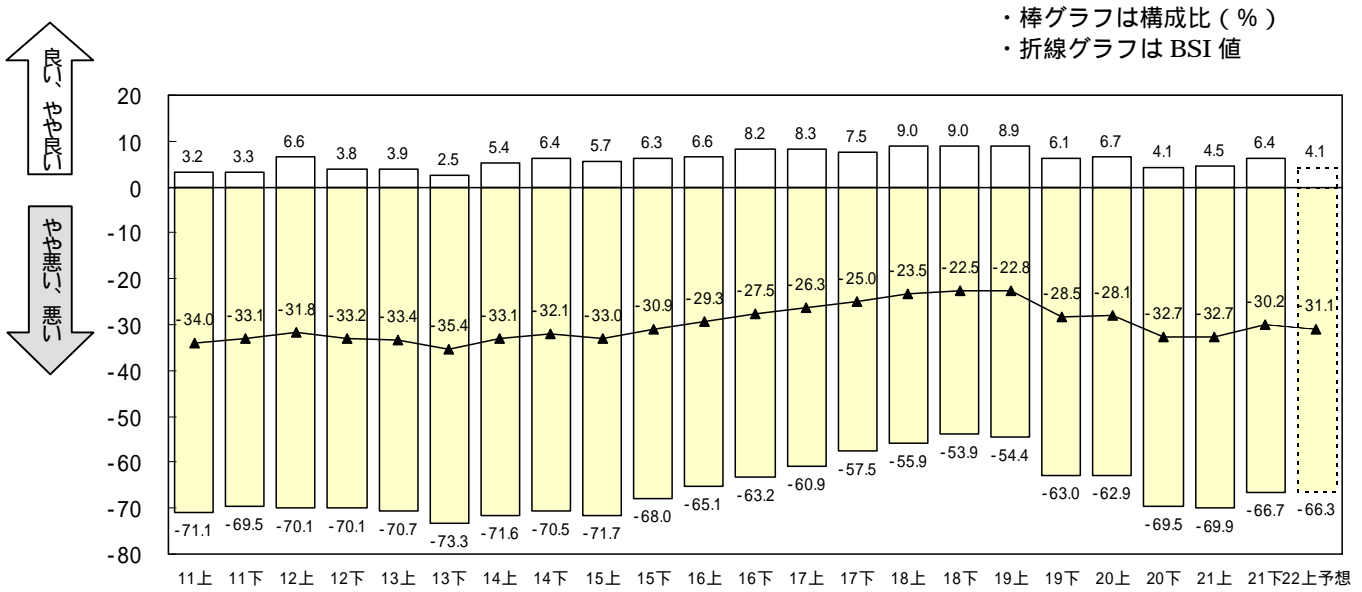
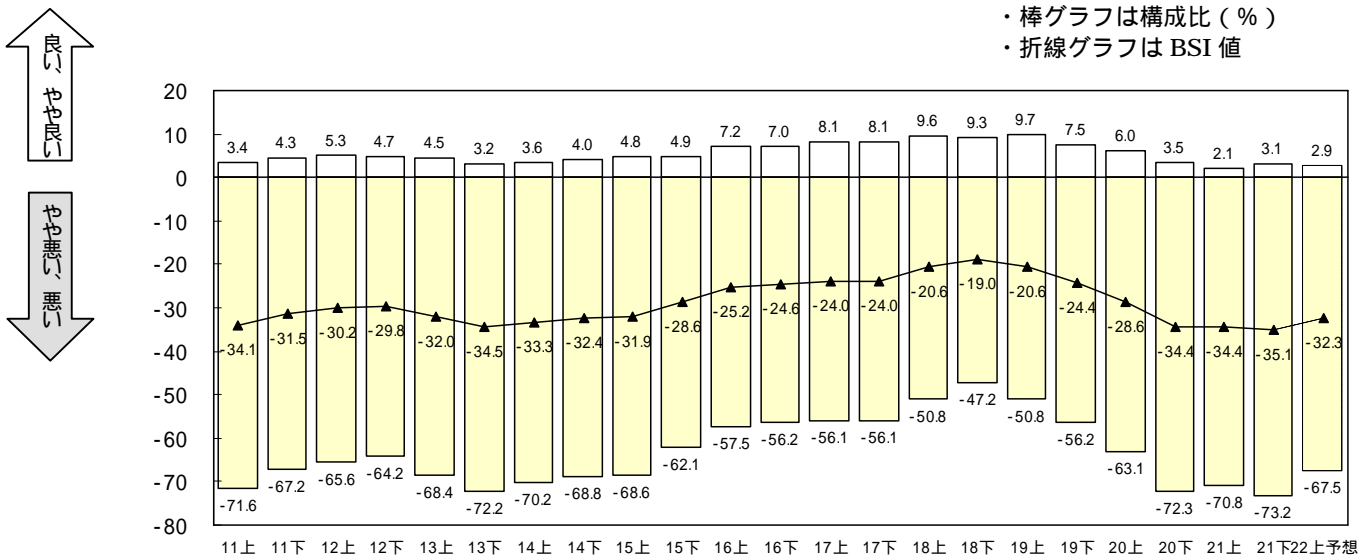


図 - 2 三重県下の経営現状と見通し



## 2. 売上状況と来期の見通し（表 - 2 参照）

### (1) 今期の動向

全産業の売上DIは今期実績値 57.1、前期 61.0と比べ3.9ポイントの改善となった。  
産業別で見ると、改善となったのは、建設業で14.3ポイント、卸売業15.4ポイント、サービス業で11.0ポイントとなった。

一方、小規模企業でも、今期実績値 59.6、前期 64.7と5.1ポイント改善となった。  
産業別に見ると、建設業、卸売業、サービス業で改善となり、なかでも卸売業では19.4ポイントと最も改善幅が大きかった。

### (2) 今後の見通し

全産業の売上見通し判断DIは 53.9と、今期の現状実績値 57.1に比べ3.2ポイントマイナス幅が縮小し、回復傾向の見通しとなっている。

産業別で見ると、今期動向とは逆に建設業、卸売業、サービス業では悪化見通し、製造業、小売業では改善見通しとなっている。

小規模企業で見ても売上見通し判断DIは 54.2と、今期の現状実績値 59.6に比べ5.4ポイントマイナス幅が縮小し、回復傾向の見通しとなっている。

産業別で見ると、製造業、小売業、サービス業では回復見通し、建設業、卸売業、飲食業では悪化見通しとなった。

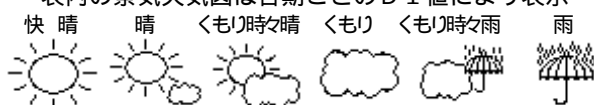
表 - 2 最近の売上と今後の見通し

期 産業	実績			来期の 見通し	期 産業	実績			来期の 見通し
	20年7 ~12月	21年1 ~6月	21年7 ~12月	22年1 ~6月		20年7 ~12月	21年1 ~6月	21年7 ~12月	22年1 ~6月
全産業	60.7	61.0	57.1	53.9	全産業				
製造業	68.5	60.9	62.5	45.8	製造業				
建設業	49.3	61.6	47.3	58.0	建設業				
卸売業	58.8	64.1	48.7	69.3	卸売業				
小売業	71.6	67.0	69.8	46.0	小売業				
飲食業	64.7	22.2	64.7	88.3	飲食業				
サービス業	51.7	64.0	53.0	55.0	サービス業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示



景気判断DI

50以上100 25以上 0 以上 25以上 50以上 100  
50未満 50未満 25未満 0 未満 25未満 50未満



### 3. 売上の現状 (図 - 3・4 参照)

今期売上げが増加した企業は全体で469企業中63企業13.4%(前期11.1%)、小規模企業では315企業中38企業12.1%(前期10.1%)と全体、小規模企業ともに若干の増加となった。

一方、今期売上げが減少した企業は469企業中331企業70.6%(前期72.1%)、小規模企業では315企業中226企業71.7%(前期74.7%)となり売上げが減少したとする割合も減少となった。

図 - 3 津地区の売上の現状と見通し

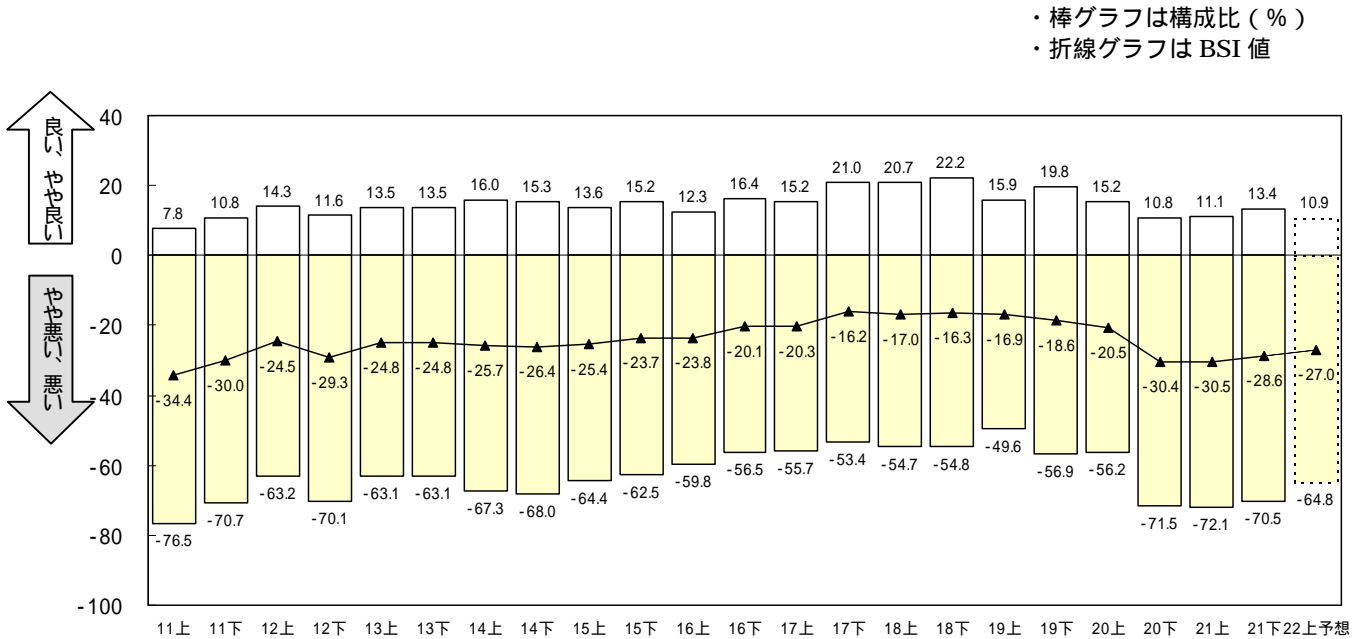
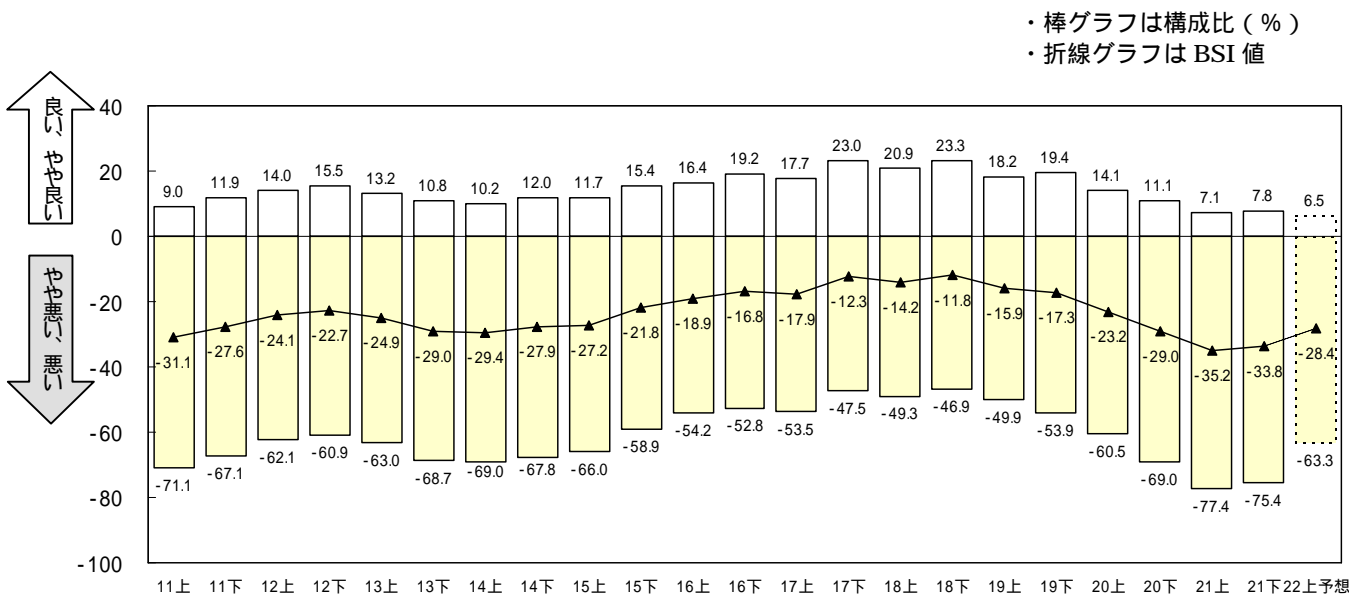


図 - 4 三重県下の売上の現状と見通し



## 4 . 利益状況

### 利益状況（表 - 3、図 - 5 参照）

全産業の利益判断DIは 52.8と前期 62.6に比べ9.8ポイント好転となった。

産業別で見ても全ての産業で好転となった。

小規模企業で見ても利益判断DIは 61.0と前期 68.1に比べ7.1ポイント好転となった。

産業別では、製造業で横ばいとなっているが、それ以外の業種では好転している。

表 - 3 利益状況

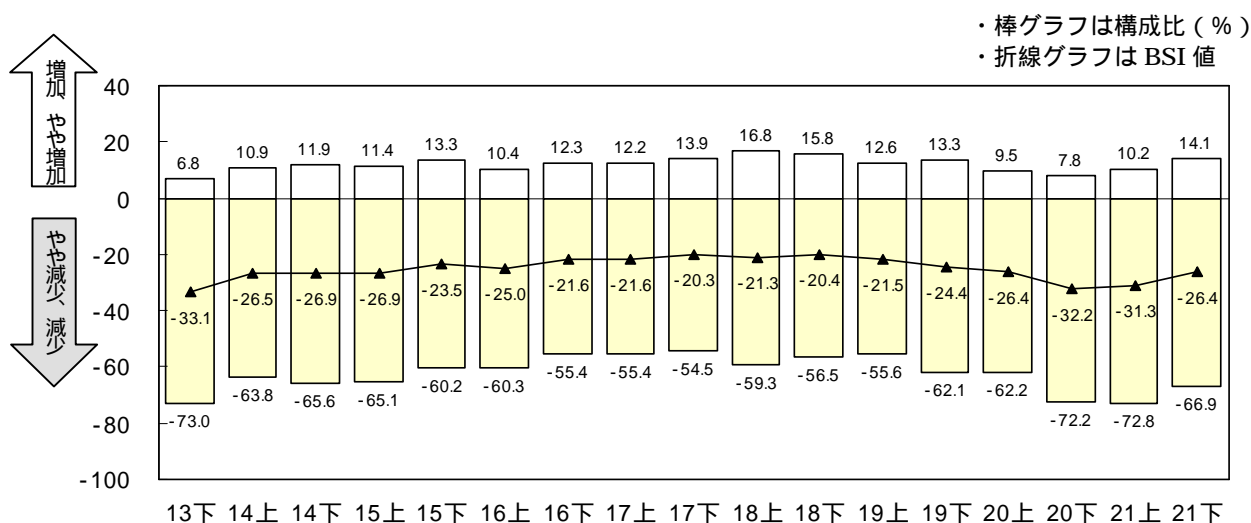
産業	期	実績	
		20年7～12月期	21年1～6月期
全産業		64.4	62.6 ( 68.1)
	製造業	74.0	57.9 ( 64.0)
	建設業	56.3	68.2 ( 71.3)
	卸売業	76.5	62.5 ( 72.0)
	小売業	71.6	59.5 ( 66.6)
	飲食業	70.6	78.7 ( 60.0)
	サービス業	51.8	61.4 ( 65.5)
			21年7～12月期
			52.8 ( 61.0)
			55.3 ( 64.5)
			64.2 ( 66.7)
			56.4 ( 57.9)
			47.6 ( 60.4)
			58.8 ( 54.6)
			44.0 ( 52.8)

DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合

はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

図 - 5 利益状況



## 5 . 販売条件と仕入条件

### (1) 販売条件 (表 - 4、図 - 6 参照)

全産業の販売条件判断DIは 51.8と前期 56.0に比べ4.2ポイントの好転となった。

業種別で見ると、サービス業で8.7ポイント、卸売業で6.6ポイントの好転、建設業と小売業では横ばい状況となっている。

小規模企業でも 53.6と前期 58.0に比べ4.4ポイントの好転となった。

業種別では卸売業で12.6ポイント、サービス業で12.5ポイント、建設業で4.2ポイントの好転となった。一方、製造業と小売業では悪化となった。

表 - 4 販売条件

産業	期	実 績		
		20年7～12月期	21年1～6月期	21年7～12月期
全 産 業		53.6	56.0 ( 58.0)	51.8 ( 53.6)
製 造 業		53.6	51.8 ( 52.3)	54.2 ( 61.3)
建 設 業		49.3	58.1 ( 60.4)	56.2 ( 56.2)
卸 売 業		41.1	57.8 ( 60.0)	51.2 ( 47.4)
小 売 業		64.1	59.4 ( 59.8)	58.7 ( 65.2)
飲 食 業		58.8	44.5 ( 60.0)	47.0 ( 36.4)
サ ー ビ ス 業		46.4	54.7 ( 55.9)	46.0 ( 43.4)

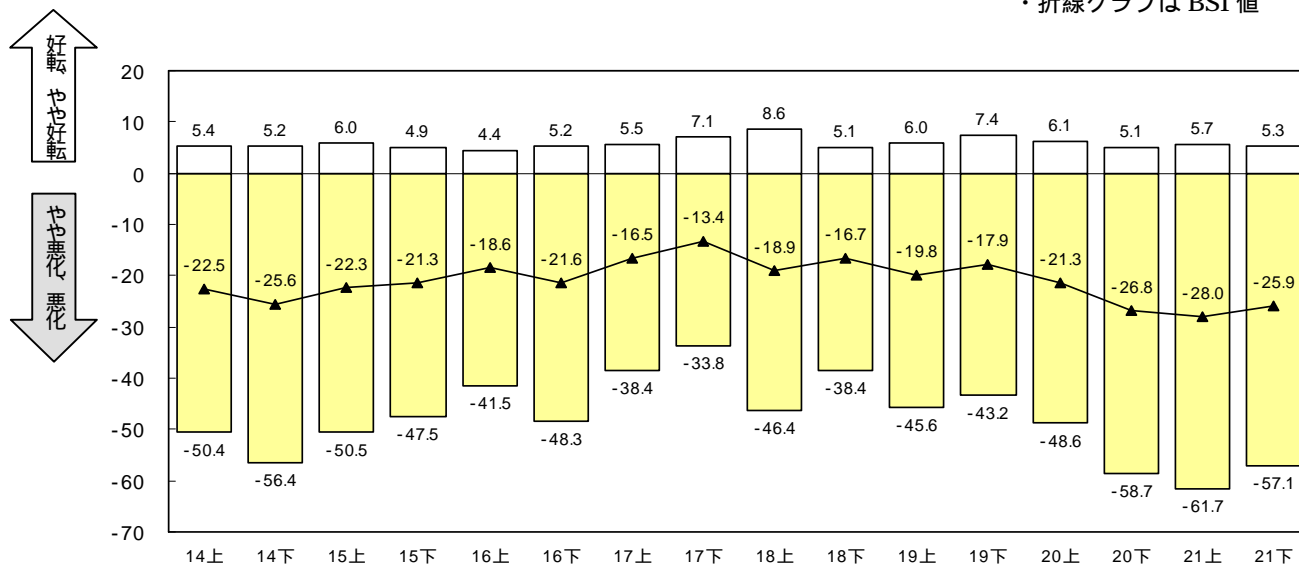
DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

図 - 6 販売条件

- ・棒グラフは構成比 (%)
- ・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表 - 5、図 - 7 参照)

全産業の仕入条件判断DIは、27.7と前期30.2に比べ2.5ポイントの好転となった。

産業別で見ると、サービス業を除く全ての産業で好転となった。

小規模企業では今期28.3と前期34.8に比べ6.5ポイントの好転となった。

産業別では全ての産業で好転し、卸売業で13.6ポイント、サービス業で12.6ポイント、小売業で11.9ポイントの好転となった。

表 - 5 仕入条件

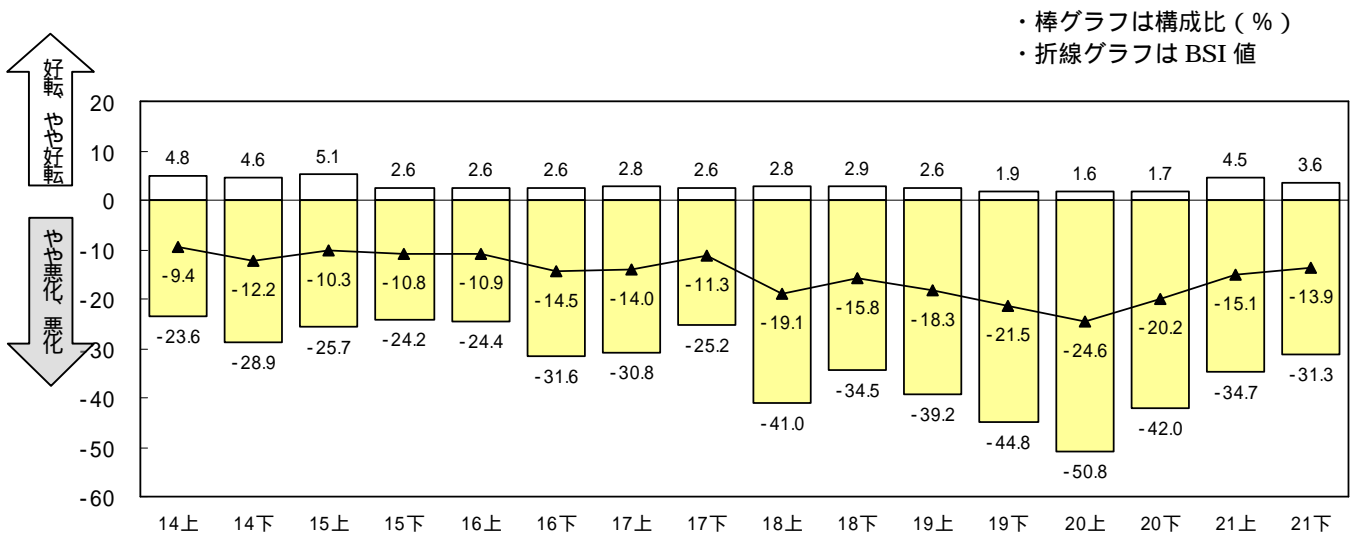
産業	期	実 績		
		20年7～12月期	21年1～6月期	21年7～12月期
全 産 業		40.3	30.2 ( 34.8)	27.7 ( 28.3)
製 造 業		40.7	25.5 ( 32.5)	22.9 ( 29.1)
建 設 業		40.8	35.8 ( 36.8)	33.9 ( 33.3)
卸 売 業		35.3	31.2 ( 40.0)	28.1 ( 26.4)
小 売 業		44.8	32.1 ( 37.5)	22.2 ( 25.6)
飲 食 業		47.0	38.9 ( 30.0)	17.7 ( )
サ ー ビ ス 業		28.6	26.0 ( 33.3)	29.0 ( 20.7)

DI = 好転 (高い) の割合 - 悪化 (低下) の割合

はマイナス表示

下段( )内DI値は小規模企業

図 - 7 仕入条件



## 6 . 設備投資（表 - 6 参照）

### （1）今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、469企業中102企業21.7%と前期18.2%と比べ3.5ポイントの増加となった。業種別では、製造業28.1%（27企業）、サービス業24.0%（24企業）、建設業12.5%（14企業）、小売業19.0%（12企業）が主となっている。

小規模企業では、315企業中48企業15.2%と前期11.7%に比べ3.5ポイント増加となり、業種別では飲食業で36.4%、製造業で21.0%と割合が高かった。

### （2）来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は469企業中79企業16.8%と今期実績値21.7%に比べ低調な割合となっている。業種別でも、今期実績を上回っているのは建設業だけにとどまっている。

小規模企業では、315企業中38企業12.1%と根気実績値15.2%を下回っており低調なものとなった。

表 - 6 設備投資実施企業割合

（単位：％）

期 産 業	実 績			来期計画
	20年7～12月	21年1～6月	21年7～12月	22年1～6月
全 産 業	14.2	18.2 (11.7)	21.7 (15.2)	16.8 (12.1)
製 造 業	13.0	24.1 (12.8)	28.1 (21.0)	21.9 (12.9)
建 設 業	16.9	13.1 (13.0)	12.5 (10.4)	16.1 (14.6)
卸 売 業	5.9	14.1 (4.0)	20.5 (5.3)	10.3 (0.0)
小 売 業	13.4	17.9 (4.2)	19.0 (11.6)	9.5 (4.7)
飲 食 業	11.8	27.8 (10.0)	35.3 (36.4)	17.6 (18.2)
サービ業	16.1	17.3 (9.5)	24.0 (18.9)	17.0 (12.1)

下段( )内の値は小規模企業

## 7 . 資金繰りの動向（表 - 7、図 - 8 参照）

### （1）今期の動向

全産業の今期資金繰り判断DIは 32.0と前期 40.2に比べ8.2ポイントの改善となった。

産業別では建設業で横ばいとなった以外は改善傾向となった。

小規模企業では 38.2と前期 44.3に比べ6.1ポイントの改善となっている。

産業別では、改善となっているのは製造業と建設業のみであった。

## (2) 来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断DIは 34.3と今期実績値 32.0に比べ悪化傾向となっている。  
 産業別では、製造業でやや改善、建設業では横ばいとなった以外は悪化傾向となっている。  
 小規模企業では 36.9と今期実績値 38.2に比べ悪化傾向となった。  
 産業別に見てみると、製造業と建設業でやや改善傾向となった以外は悪化見通しとなっている。

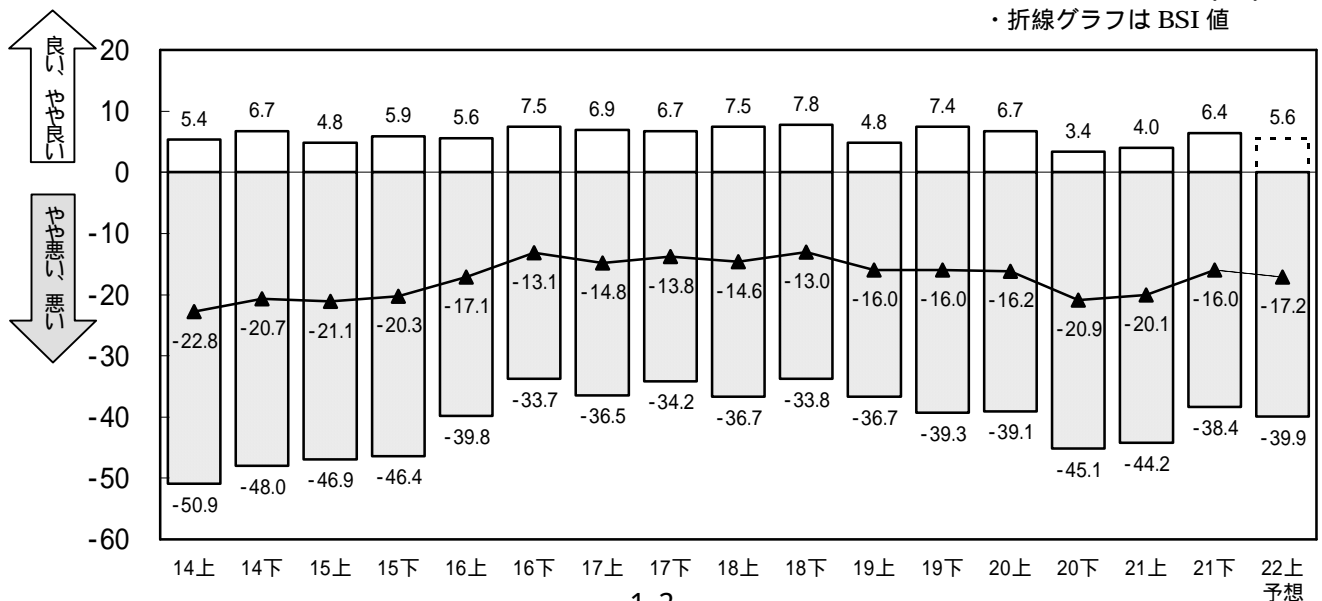
表 - 7 資金繰り

期 産 業	実 績			来期見通し
	20年7～12月期	21年1～6月期	21年7～12月期	22年1～6月期
全 産 業	41.7	40.2 ( 44.3)	32.0 ( 38.2)	34.3 ( 36.9)
製 造 業	40.6	42.1 ( 49.9)	32.3 ( 43.5)	29.2 ( 38.8)
建 設 業	38.0	41.0 ( 42.4)	41.1 ( 42.7)	41.1 ( 40.6)
卸 売 業	41.2	37.5 ( 64.0)	15.3 ( 21.1)	23.0 ( 31.6)
小 売 業	47.7	30.3 ( 36.1)	26.9 ( 27.9)	33.3 ( 30.3)
飲 食 業	41.2	66.7 ( 50.0)	58.8 ( 54.6)	64.7 ( 63.6)
サービス業	37.4	43.4 ( 46.5)	31.0 ( 39.7)	41.0 ( 43.4)

DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合  
 下段( )内DI値は小規模企業

はマイナス表示

図 - 8 資金繰りの現状と見通し



## 8 . 借入の動向（表 - 8 参照）

全産業の借入難易度判断DIは3.0と前期 1.1に比べ4.1ポイントの改善となった。

産業別では、卸売業、サービス業では困難さが増しているもの、それ以外の業種では改善傾向となった。

小規模企業では 2.1と前期 8.1に比べ6.0ポイントの改善となった。

産業別に見ると、小売業で33.3、製造業で9.1と容易傾向となった。

表 - 8 借入の難易度

期 産 業	実 期		績
	20年7～12月期	21年1～6月期	21年7～12月期
全 産 業	5.4	1.1 ( 8.1)	3.0 ( 2.1)
製 造 業	0.0	2.8 ( 4.4)	12.2 ( 9.1)
建 設 業	0.0	5.7 ( 8.8)	3.3 ( 8.3)
卸 売 業	16.7	5.3 ( 9.1)	0.0 ( 28.6)
小 売 業	11.1	3.9 ( 4.2)	21.2 ( 33.3)
飲 食 業	66.7	16.7 ( 0.0)	14.3 ( 25.0)
サ ー ビ ス 業	5.3	1.6 ( 38.1)	11.1 ( 31.9)

DI = 好転（高い）の割合 - 悪化（低下）の割合

はマイナス表示

下段( )内の値は小規模企業

## 9 . 借入予定と借入希望先（図 - 9 参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は469企業中113企業で全体の24.1%、前期25.1%となり、借入希望は横這い状況であった。

産業別では、前期同様に製造業と建設業が25%以上が「借入予定あり」としている。

一方、小規模企業でも315企業中65企業20.6%と前期20.1%に比べ横ばい状況であった。

産業別では製造業で30.6%と高い割合となっている。

借入希望先は全産業で民間金融機関54.9%と前期の64.7%と比べ減少し、公的金融機関の希望が10%増加傾向となった。

また資金使途は全産業では、運転資金78.8%、設備資金20.4%で、運転資金としての資金を希望している業種が多かった。

図 - 9 - 借入予定

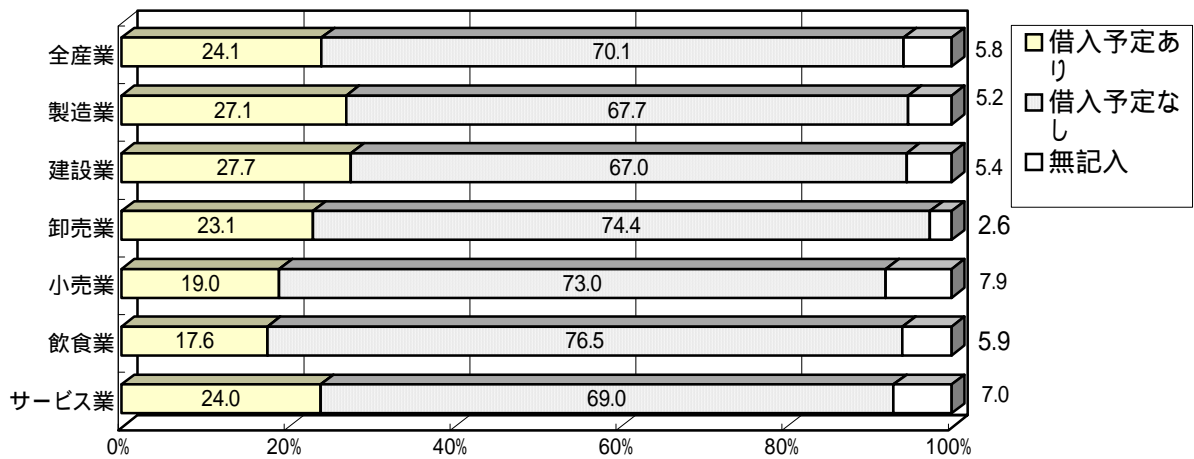


図 - 9 - 借入希望先

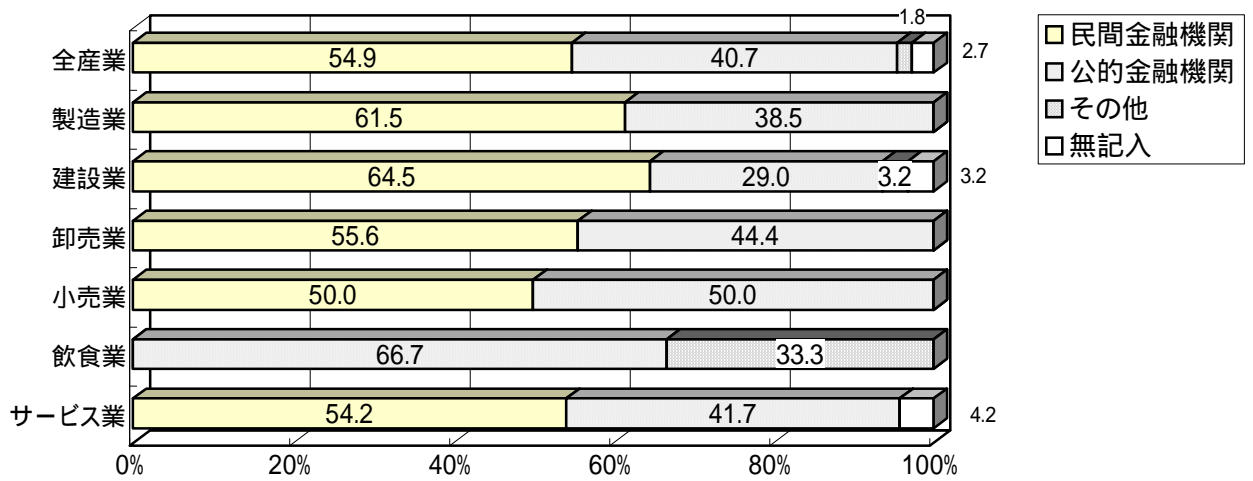
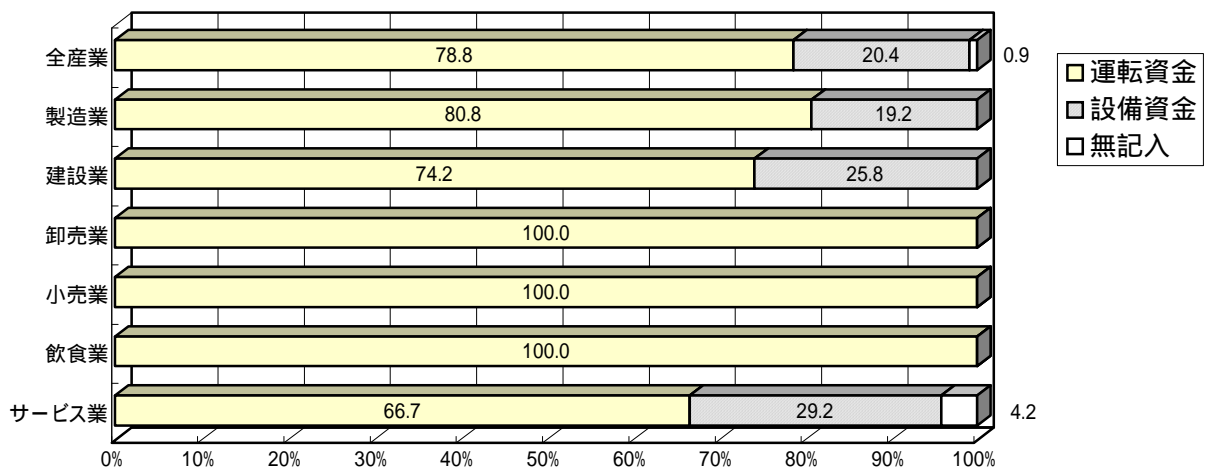


図 - 9 - 借入資金の使途予定





## 10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（表 - 9、図 - 10 参照）

全産業の経営上の問題点は1・2位は14期連続で「売上・受注の停滞・減少」、「競争激化」となり、3位は前期に引き続き「製品・商品の単価の下落」となった。

産業別で見ると、「売上・受注の停滞・減少」が全ての業種で1位となり、「競争激化」も飲食業以外は2位、製造業では3位と前期とほぼ同様の結果となった。

また、卸売業では「代金回収の悪化」、飲食業、サービス業、小売業では「人材育成の悪化」が今期3位となった。

図 - 10 全産業・経営上の問題点

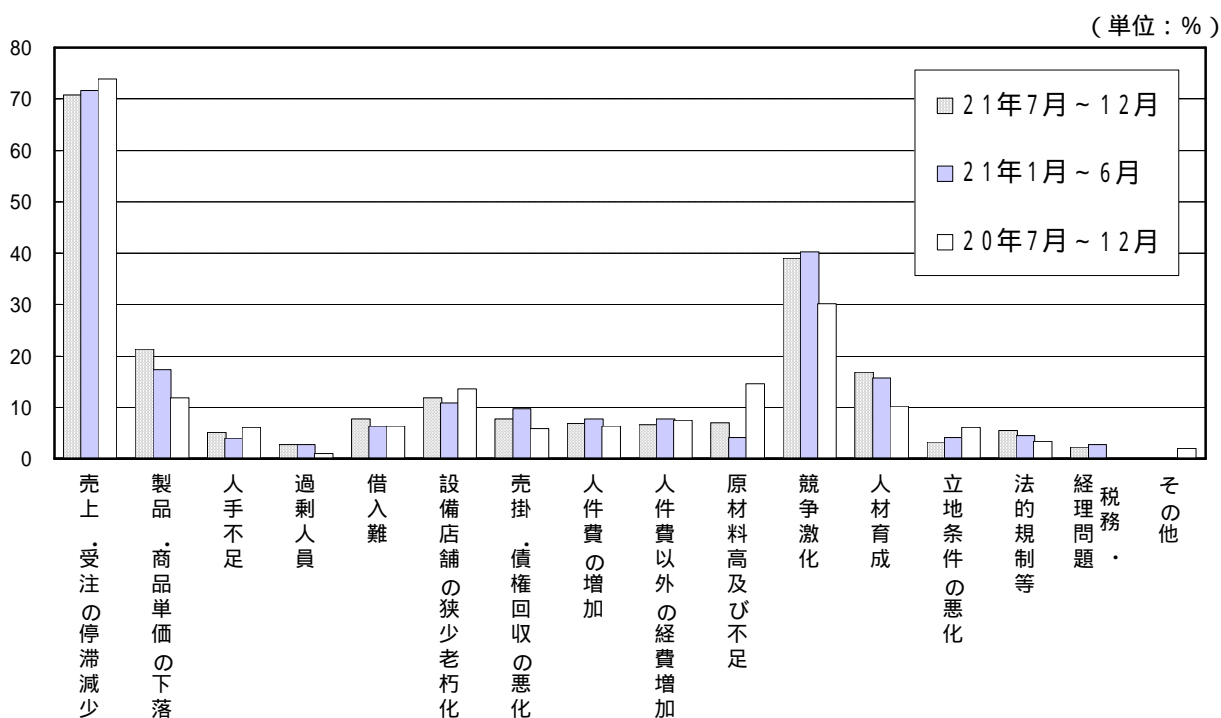


表 - 9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

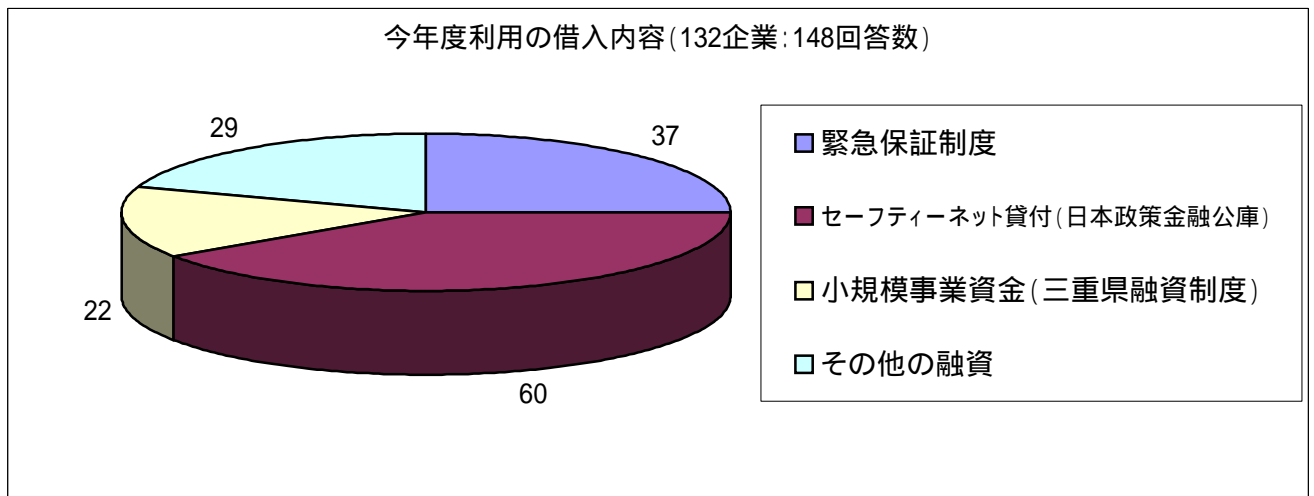
順位 産業		21年1月～6月期			21年7月～12月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産業別	全産業	売上・受注の 停滞減少 71.7	競争激化 40.2	製品・商品 単価の下落 17.3	売上・受注の 停滞減少 70.8	競争激化 39.0	製品・商品 単価の下落 21.3
	製造業	売上・受注の 停滞減少 76.7	製品・商品 単価の下落 34.6	競争激化 28.6	売上・受注の 停滞減少 80.2	製品・商品 単価の下落 42.7	競争激化 32.3
	建設業	売上・受注の 停滞減少 75.3	競争激化 50.0	製品・商品 単価の下落 18.2	売上・受注の 停滞減少 78.6	競争激化 47.3	製品・商品 単価の下落 19.6
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 73.4	競争激化 42.2	製品・商品 単価の下落 21.9	売上・受注の 停滞減少 66.7	競争激化 51.3	代金回収の悪化 25.6
	小売業	売上・受注の 停滞減少 69.8	競争激化 49.1	人材育成の 悪化 17.0	売上・受注の 停滞減少 68.3	競争激化 38.1	人材育成の 悪化 22.2
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 66.7	人件費以外の 経費増加 38.9	・設備店舗の 狭小老朽化 ・人件費の増加 ・競争激化 27.8	売上・受注の 停滞減少 52.9	設備店舗の 狭小老朽化 29.4	人材育成の 悪化 23.5
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 67.3	競争激化 36.7	設備店舗の 狭小老朽化 15.3	売上・受注の 停滞減少 64.0	競争激化 36.0	人材育成の 悪化 24.0

## 11. 今年度（21年4月～調査時点）利用の借入内容（該当すべて）

（図 - 11 参照）

今年度利用の借入内容について、132事業所から148件の回答があった。セーフティーネット貸付（日本政策金融公庫）が60件、次いで、緊急保証制度が37件と利用が多かった。その他の利用では、民間金融の融資、ビジネスローン、親族などの回答があった。

図 - 11 今年度利用の借入内容



津地区の小規模企業景況 55

平成22年3月発行

編集 津商工会議所・中小企業相談所

発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内2-9-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1-3-47-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665